

調査・研修等計画届出書

令和4年5月6日

瀬戸市議会議長 宮菌 伸仁 様

議員名 伊藤 賢二

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

記

期 日	令和4年5月18日（水）	
調査先・研修名	自治体総合フェア	
会場名（会場所在地）	東京ビックサイト国際展示場	
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	地方自治体に関わる情報・環境・防災文化・福祉・教育などハード・ソフト面から実務課題に解決できる展示を視察・研修する 全国各地で頻発する地震に対する対策 当市の現況を踏まえ対策の点検・検討に生かす	
議長名の依頼	不要	依頼先（名称）
同行者名	無し	

※行程表を添付してください。



第26回 **自治体総合フェア2022** 5月18日(水)・19日(木)・20日(金)

HOME > [開催概要](#)



自治体総合フェア2022概要

名称

自治体総合フェア2022

テーマ

地域で創り、育み、守り、持続可能な地域社会へ

主催

一般社団法人日本経営協会

会期

2022年5月18日(水)・19日(木)・20日(金)
10:00~17:00

会場

東京ビッグサイト 西展示棟・西3ホール

〒135-0063 東京都江東区有明3-21-1 【会場案内】

内閣府、総務省、消防庁、文部科学省、厚生労働省、国土交通省、全国知事会、全国市長会、全国町村会、指定都市市長会、全国都道府県議会議長会、全国市議会議長会、全国町村議会議長会、東京都、独立行政法人情報処理推進機構、国立研究開発法人防災科学技術研究所、地方公共団体情報システム機構、日本放送協会（NHK）

後援（予定）

一般社団法人行政情報システム研究所、一般財団法人地域活性化センター、一般財団法人地域総合整備財団、一般財団法人都市みらい推進機構、一般財団法人地域開発研究所、一般財団法人新エネルギー財団、一般財団法人省エネルギーセンター、一般財団法人日本情報経済社会推進協会、一般財団法人ニューメディア開発協会、公益社団法人日本フアシリティマネジメント協会、公益社団法人日本建築家協会、一般社団法人文教施設協会、一般社団法人日本民間放送連盟、公益社団法人全国自治体病院協議会、一般社団法人日本病院会、公益社団法人日本看護協会、公益財団法人日本訪問看護財団、日本商工会議所、東京商工会議所、全国都市農業振興協議会、災害救援ボランティア推進委員会、特定非営利活動法人日本PFI・PPP協会、特定非営利活動法人危機管理対策機構、特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会、一般社団法人日本テレワーク協会

協賛（予定）

展示会入場料

無料（原則は招待券持参者・事前登録者、ただし当日登録者も可）

会場予定規模

会場面積 約3,500m² 展示面積 約1,800m²

出展予定者数

約120社・団体

来場対象者

官庁・自治体、議会・議員・議事、教育委員会・学校関係者、財団・社団等団体、公営企業・公社、NPO法人、医療福祉部門、公共部門 などの関係者

来場者目標数

約10,000人

展示構成

- (1)自治体業務イノベーションゾーン
- (2)危機管理対策ゾーン
- (3)地域振興ゾーン
- (4)快適未来都市ゾーン

**特別企画・
主催者企画**

- (1)ワーキングイノベーション2022
- (2)スマートシティパビリオン
- (3)全国地方議会サミット連携企画
- (4)シティプロモーションアワード
- (5)公務能率研究会議
- (6)電子政府コーナー

**カンファレンス・
セミナー**

- 主催者、協力団体、出展者により会期中3日間開催
- (1)自治体カンファレンス
 - (2)出展者プレゼンテーションセミナー

コンセプト

自治体経営の革新と魅力ある地域社会の実現をテーマにした総合展示会で公民連携とイノベーションを創出

自治体総合フェアは、地方自治体にかかわる情報、環境、防災、文化、福祉、教育などに焦点をあてた製品・技術・サービスを一堂に展示し、地方自治体が抱える課題に対しハード・ソフト両面から実務的なソリューションを提案するフェアとして、地方自治法制定50周年にあたる1997年から開催。2022年で26回目を迎えるに至ります。今後も様々な国・地方自治体・官民様々な団体との連携のもと、自治体職員にとって実務課題の解決に直結するイベントとして開催します。

同時開催

企業立地フェア2022

開催までのスケジュール

日程

スケジュール内容

2021

2021年11月8日(月)

出展募集開始

イベントの詳細情報は開催説明動画をご確認ください。

調査・研修等報告書

令和4年5月20日

瀬戸市議会議長水野 良一様

議員名伊藤 賢二(印)

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

期 日	令和4年5月18日から月 日まで（泊 日）
調査先・研修名	自治体フェア
会場名（会場所在地）	東京ビックサイト
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	地方自治体に関わる情報・環境・防災・文化・福祉・教育などハード・ソフト面から実務課題に解決できる展示を視察・研修する 全国各地で頻発する地震に対する当市の現況を踏まえ対策の点検・検討に活かす

防災服 災害が頻繁に起こる昨今、自治体職員が防災服を活用する機会が増加している。こうした中で防災服のリニューアルを実施・検討する自治体も増えている。

- ①瀬戸市の職員であることがはっきりわかる文字の記載
- ②快適で肌触りもいいものの着脱が容易
- ③猛暑・寒さ・コロナ対策

消防団管理システム

- ①出勤報酬・年額報酬・費用弁償
- ②幽霊団員数の把握
- ③報告資料の簡単作成
- ④団員表彰・辞令交付管理

等 令和4年度から始まる新たな報酬制度への対応は瀬戸市の状況はどうか確認したい。

シテイプロモーション

郷土愛・移住・定住の促進 岡山市の対応が幅広い分野で強力に実施している。

- ①医療環境の充実②教育環境の充実③魅力 食べ物、歴史
文化④企業立地関係補助金 多様
⑤IT・デジタルコンテンツ産業等推進事業補助金

調査先（主な質疑・応答内容） / 研修（受講後の感想）

調査・研修の成果・考察
(瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等)

行程表

乗り換え案内ジョルダン <http://www.jorudan.co.jp/>

※往復利用の場合は、往復料金を入力してください。

日付	出発駅	交通手段	片道/往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
4年	水野	名鉄	往復	大曽根		km	720	円	円
	大曽根	JR	片道	新橋		km	6,380	円	4,920 円
5月	新橋	私鉄	往復	東京ビッグサイト		km	780	円	円
	新橋	JR	片道	大曽根		km	6,380	円	4,920 円
18日						km		円	円
	宿泊先名称				TEL		宿泊料金		
							円		
備考欄									

円

日付	出発駅	交通手段	片道/往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
年						km		円	円
						km		円	円
月						km		円	円
						km		円	円
日	宿泊先名称				TEL		宿泊料金		
								円	
備考欄									

小計 24,100 円

日付	出発駅	交通手段	片道/往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
月						km		円	円
						km		円	円
日	宿泊先名称				TEL		宿泊料金		
								円	
備考欄									

バック等による割引など

小計 0 円

円

宿泊費 合計

交通費 合計

0 円

24,100 円

申請額合計
(宿泊費+交通費-割引代)

24,100 円

水野 → 東京ビッグサイト

2022/05/18(水) 10:00 出発

10:04発 → 13:12着 総額 12,050円 (切符利用)

所要時間 3時間8分 乗車時間 2時間30分 乗換 4回 距離 398.6km

経路	乗車位置	運賃	指定席/料金	距離
○ 水野				
10:04-10:26 22分	私 名鉄瀬戸線(栄町行)	やや前・やや後	360円	13.4km
乗換5分 待ち5分	○ 大曽根 2番線着			
10:36-10:49 13分	JR 中央本線(東海)(名古屋行)	やや前・後	6,380円	9.8km
乗換7分 待ち3分	○ 名古屋 8番線着 14番線発			
10:59-12:28 89分	新 のぞみ8号(N700系)(東京行)	4・7・9・11号車	↓ 指定席 4,920円	359.2km
乗換10分 待ち1分	○ 品川 6番線発			
12:39-12:43 4分	JR 上野東京ライン(小金井行)	中後	↓	4.9km
乗換6分 待ち1分	○ 新橋 [当駅始発] 2番線着 1・2番線発			
12:50-13:12 22分	私 ゆりかもめ(豊洲行)	後	390円	11.3km
○ 東京ビッグサイト 1番線着				

記号の説明

△ … 前後の時刻表から計算した推定時刻です。

() … 徒歩/車を使用した場合の時刻です。